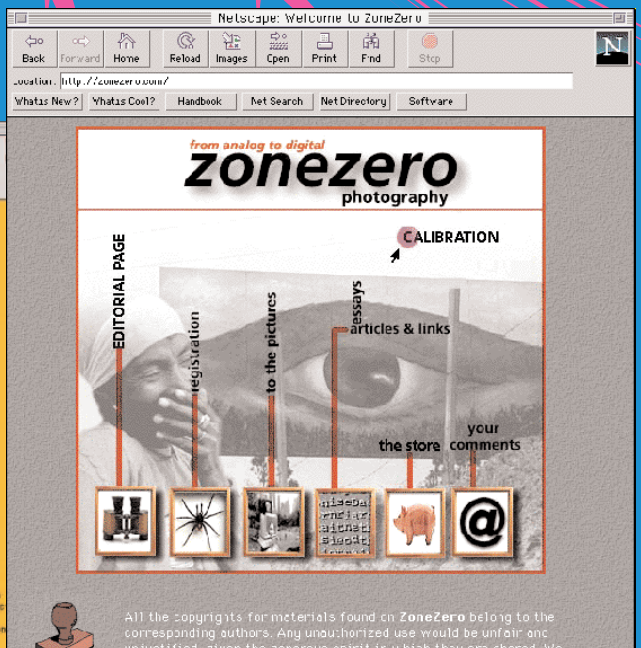
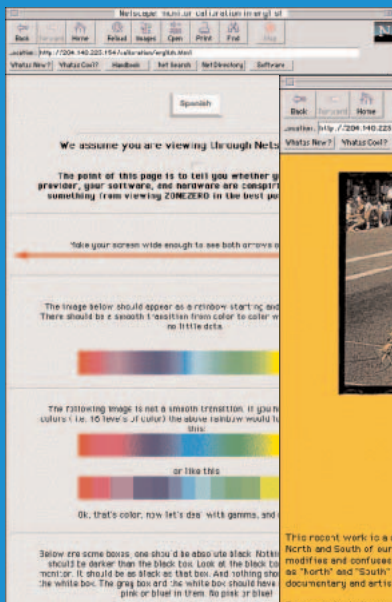


What's Cool

今泉 洋の



# What's Cool

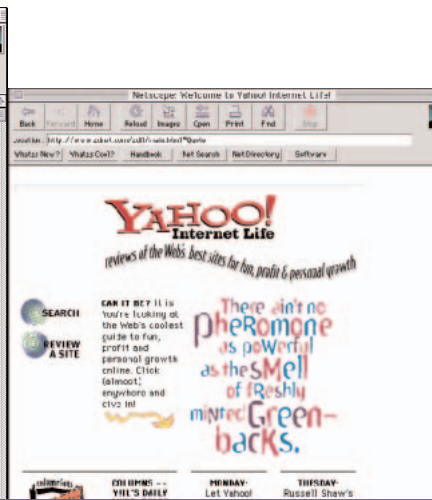
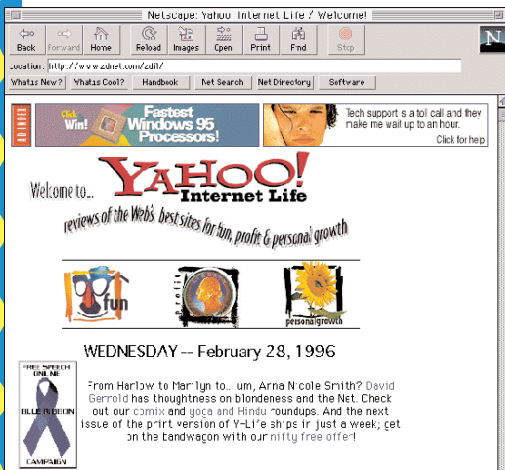


キャリブレーションテストが泣かせる こだわりのアートサイト  
ZoneZero  
URL <http://zonezero.com/>

最近はそのようなバラつきはないようだが、他人の家に遊びに行った時、なんだかテレビの色がおかしいと思ったことはないだろうか？ 実はブラウン管の色は結構個体差が激しく、特に色に気を使うデザイン作業用のモニターをちゃんとした色に調整するのは大変な作業。実際、某社で自慢気にずらりとモニターを並べたところ、色がバラバラで、ち

よっとした問題になったことがあるほどだ。  
「俺のアートをそんないい加減な色のモニターで見たくない！」と言ったかどうか知らないが、色調整をしっかりとやってもらってから作品を見てもらおうと、自前のキャリブレーションテストを用意したこのページ。テーマは「アナログからデジタルメディアへの変換」。しかも、

単なる技術的興味よりコンテンツの価値を大事にしながら……と言われているほど、グアテマラのコーヒー農場労働者やメキシコのストリートキッズなどラテンアメリカ関係、しかもねっとりとした触覚的な感じの写真が多い。クールなメディアのホットな会話は、まさにアナログとデジタルの好バランスの上に成り立つというわけだ。



## ヤフーとZDの提携で生まれたインターネット雑誌の本来オンライン版 Yahoo! Internet Life

URL <http://www.zdnet.com/zdil/>

アメリカには数多くのE-Zineがあつてそれぞれユニークさを競っているが、血筋のよさ(?)では抜群なのがこのホームページ。趣味で始めたディレクトリーサービスが大当たりして一躍ネット界の寵児となったヤフーと老舗出版社ジフ・デイビス社が発行するE-Zineだ。ユニークなのは、これが決して雑誌をサ

ポートするウェブページではなく、ウェブ主導で雑誌(季刊)のコンテンツを作っていくという従来とは逆の手法でリスタートした点。95年11月末に「Internet Life」という名前で創刊。その後、12月にヤフーと提携してウェブの体制を強化し、名前も「Yahoo! Internet Life」に変更。いわば老舗が新興ブランドネームを借りたとも言えるが、それ以来、元TVガイドやプレイボーイ誌のエグゼクティブエディタ

ーであったバリー・ゴールソンを編集長に迎え、2号目もウェブが先行するというかたちで快進撃を続けている。内容の基本はインターネット上のリソース紹介だが、編集部のランクは4段階、ユーザーのランクは10段階という姿勢にも見られるように、あくまでも利用者主導。それが結果的に雑誌をサイバースペースのオピニオン誌的存在に導くはずと確信している点に好感が持てる。

## ネットサーフィンの友 スナックフード協会の笑えるおつまみページ Snack Food Association

URL <http://www.snax.com/>

ひと昔前に「カウチポテト」という言葉(どうやら日本では「炬燵蜜柑(こたつみかん)」と翻訳されたり)が流行ったことがある。確かに夜中にネットなどを見ていると、体にはよくないと分かっている、何かちょっと食べたくなるのは事実。そんな気分のユーザーに狙いをすましたのがこのページだ。エルビス・プレッツェリやフランク・スナックトラ、ウィリアム・スナックスピアなど有名

人のスナックがらみの駄洒落(本家のサイトへのリンク付き)や、音を聴いてスナックの種類を当てるクイズ、スナックの壁紙ファイルダウンロードできるサービスが(ほんのおつまみ程度だが)用意されている。「ジョブスとウォズニアクがガレージで最初のアップルを作っていたときに食べていたスナックは?」といった質問な

どに答えていくと、いかにもそれらしいスナック缶やTシャツが当たるクイズもあるが、日本からの応募は無理かもしれない。ボリュームはないが、なかなかごめる内容。さすがにスナック業界、軽さで勝負というわけ?





## 映画マニアには最高の教材！ ハリウッド映画のシナリオが読める Drew's Scripts-O-Rama

URL <http://home.cdsnet.net/~nikko11/scripts.htm>



「映画はシナリオだ」という言葉があるくらい、映画におけるシナリオの存在は大きい。シナリオとは、文字どおり映画のシーンをカメラ視線で追う形で記述されたストーリー。一度見た映画も、シナリオとつき合わせてみると、また格別の面白さがあり、映画好きがこうじるとシナリオを読んでみたくなるのもよく分かる。

このページはいろんな場所に分散しているハリウッド映画のシナリオを一挙に集めたページ。「エイリアン」から「ダイハード」、「ジュラシック・パーク」、「トータル・リコール」、「パルプ・フィクション」などのシナリオスクリプトがクリックひとつで取り出せる。

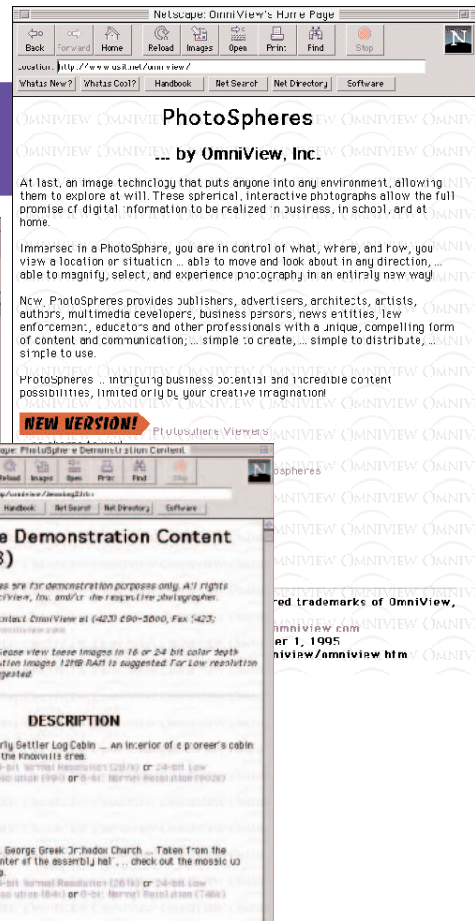
面白いのは数多くのドラフトが読める点。アメリカではよい原作や脚本があると、プロダクションなどが買いついて、次から次へと違うシナリオライターに任せてブラッシュアップしていく。これに対して、日本は最初のライターがずっと手を入れていく職人芸的な仕組みなので、どうしても手が回らない部分が出てくるようだ（これは偏見？）。あちらの何段階かのドラフトを比較しながら読んでいくと、どういう過程を経て最終的に映画になったのかが理解でき、映画の面白さをもう一歩進んでかみしめることができるというわけである。

## カメラはどこ？ QTVRをしのぐ上下左右360度の快感 OmniView

URL <http://www.usit.net/omniview/>

面白いアプリケーションが発表されるたびに、もっと速いマシンが欲しくなるといふ空しい悪く(?)循環に陥っている人は多いのではないだろうか。実は筆者もその1人。かく言う私が最近出会ったショックなアプリケーションが、OmniView社の開発したOmniViewだ。もはや当たり前になってしまったとも言えるアップルのQTVRが水平方向360度のフォトリアスティック・ビューを提供してくれる（これはこれで、発表当初とても新鮮だったんだけどね~）のに対して、OmniViewでは上下左右360度の全方向、「三脚は見えるがカメラはどこ？」という

不思議な世界を見渡すことができるのだ。しかし、問題なのは処理速度。データの読み込みには時間がかかり、一旦ファイルを読み込んでからの視点移動もスムーズとは言いがたい。はつきり言って、一世代前のマシンでは問題が多すぎる。やっぱりメモリ積んだ新しいマシンを買わなければならないことになってしまうのである。Windows3.1、95、Macintosh 68K、PPC用が揃っており、Netscapeのヘルパーアプリケーションとして登録すれば、このサイトから風景やインテリアのファイル（100K~1MB程度）をダウンロードして楽しめる。



## マリリン・モンローとアインシュタイン、ナポレオンの共通点は？

### The Lefthanded Universe

URL <http://www.xs4all.nl/~riksmits/pg001e.htm>

マリリン・モンローとアインシュタイン、ナポレオンの共通点は？という何かのクイズみたいだが、その答は全員左利き。

これは世界中の左利きの人たちのためのホームページ（その下に「右利きの人も歓迎」と書いてあるのが微笑ましい）である。

中身は文字ばかりだが、左利きの本、左利きに関する研究成果のニュース、アートに

見る左利きの世界、左利きの言い伝えや神話、左利きの嘘とホント、「あなたは本当は左利きなのかも知れない」という「真性左利き度」テスト、さらに左利き用品のショップリストまで、まさに左利きのテンコ盛り状態。

しかし「意外な事実」のところに「1992年の米大統領候補は全員左利きだった」という事実と並んで、「日本の左利きは全人口の2%以下

で、世界中のほとんどの国では10%程度いるのに比べて、異常に少ない。これはかつて妻が左利きだというだけで離婚の理由として認められるほど、左利きが抑圧されていたため……」というのが大々的に掲載されているのには驚く。マジかどうかは別にしても、こういう細かいところにこだわるところからホームページ作りが始まるのかもしれない。



もうこの号が発売されるころには終わっているはずだが、フリーの人間にとって、この時期になると頭の痛いのが確定申告。あわてて請求書をかき集めて……それはもう大変な目にあうことになる。

そんなことを米国の友人に話すと、「え？できないの？」とびっくりされるのが所得税のコンピュータ申告だ。米国ではこの手のソフトは巨大市場になっており、かのマイクロソフトも企業買収に動いたほ

どだ（結果 = 挫折）。

こんな事情に合わせて、楽しく確定申告をしてもらおうとウェブで広報活動を始めたのがアメリカの税務署、正確には財務省内国歳入庁。ご覧のとおり、とても役所仕事とは思えないポップなつくり。

内容は、一般的なお金の知識から、教育費控除など、まともな英語（自分たちでそう言ってます）で説明する納税のやり方、さらに先頃開始された「TeleFile」というオン

ラインサービスについての説明やPC上での申告プログラム「1040-PC」（これを使うと還付金が3週間以内に口座に振り込まれる！）など、納税者に対する様々なオプションが説明されている。

日本の税務署もこれくらいショウアップしてくれば……とは思いますが、その前にやるべきことは山ほどありそう。少なくとも税金の使い方くらいちゃんと説明してもらわなくっちゃ、だよな。

## 楽しくやりたい確定申告 アメリカの税務署はこんなにおしゃれ

IRS

URL <http://www.irs.ustreas.gov/prod/>

## アタマの使い方を考えさせられる2つのサイト

### Welcome to Hillary's Hair

URL <http://hillaryshair.com/>

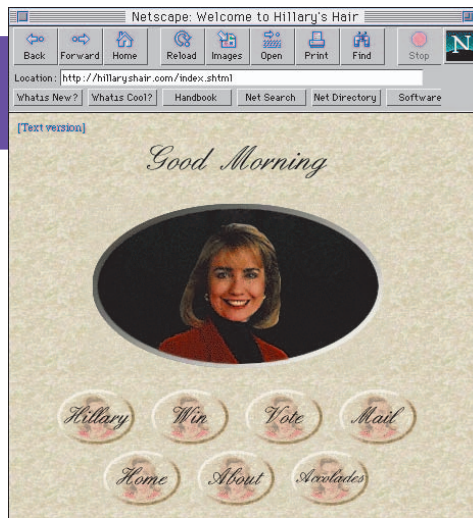
健康保険法案やホワイトウォーター疑惑など、いろいろと話題の尽きないファーストレディのヒラリー・クリントンだが、スキャンダルとは全然関係のないところでも注目を集めている。それは彼女の髪型。なんと、彼女はビルが92年に大統領になって以来、これまでに320種類のヘアスタイルで登場しているという。このサイトはその中から40

種類の彼女の髪型を優雅なサーパーブッシュ・アニメーションで見せてくれる。単にそれだけの話だが、これだけでサイトを作ってしまうというのは、まったく……。

一方、「The Exploding HeadPage (<http://www.vv.com/gilmore/head>)」は22歳のダニエル・パーフォード氏の作ったコミックブック風のページ。彼の嫌いなボ

ブ・ドールやビル・ゲイツ、ボリス・エリツィン、トム・ハンクスの頭が爆発……という過激な内容。

インターネット上で評判になったおかげで彼の会社に秘密捜査官がやってきて、「銃を持っているか」とか、「ボブ・ドールをどう思うか」など事情聴取されたという。彼がビル・クリントンを載せない理由？ それはお分かりでしょ？







## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)